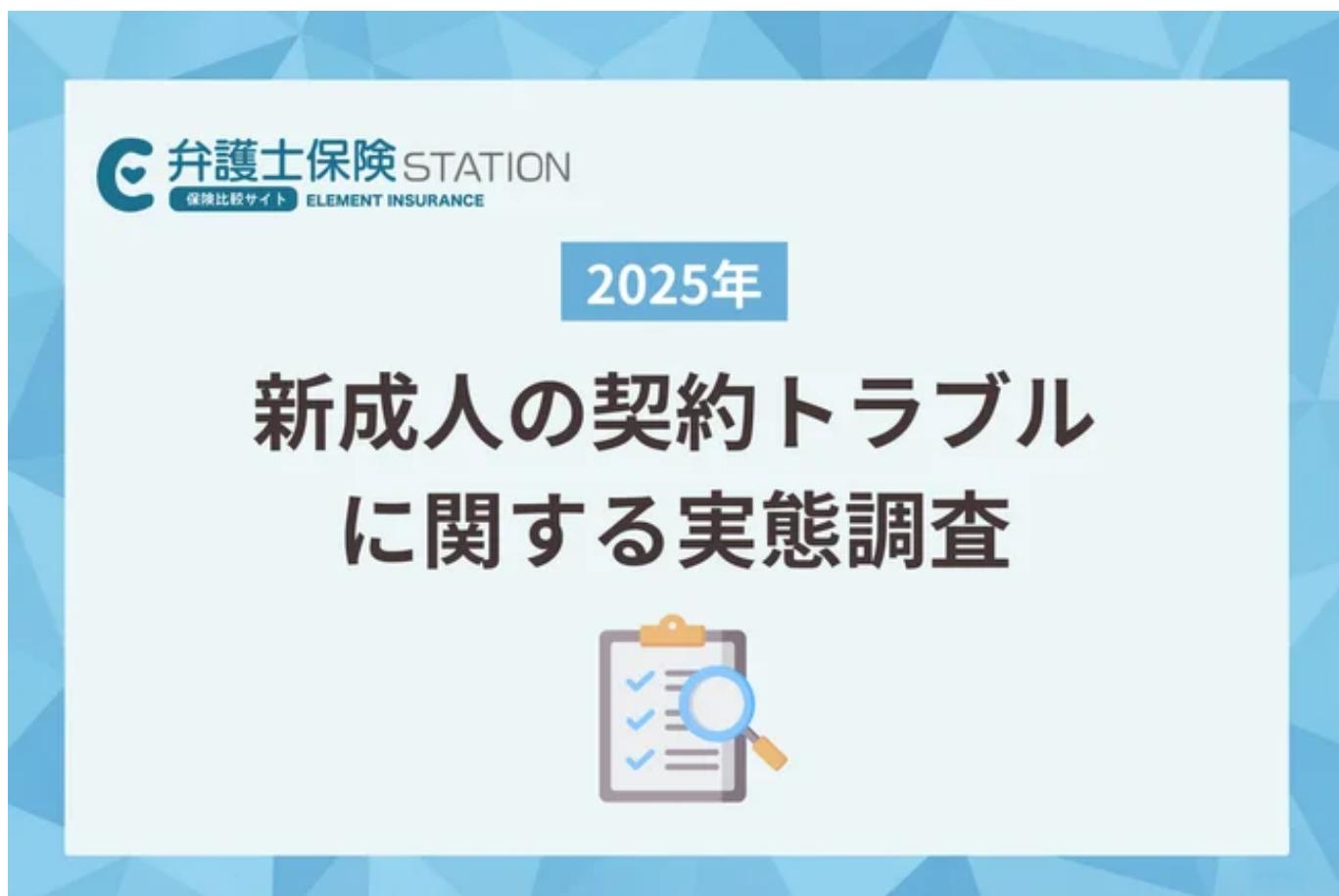


新成人の契約トラブル、8割超が金銭被害に発展。「サブスク解約」で躊躇若者の実態調査

株式会社エレメントによる新成人の契約(消費者)トラブル実態調査



《株式会社エレメント》（本社：神奈川県川崎市、代表取締役：近藤勉）は、弁護士保険比較サイト「弁護士保険STATION (<https://bengoshi-h.info/>)」において、全国の18～20歳、男女300人を対象に契約(消費者)トラブルに関するアンケート調査を実施しました。

2026年の「成人の日」を目前に控え、新成人が直面する契約リスクの深刻さが浮き彫りになりました。今回実施した「新成人の契約（消費者）トラブル実態調査」によると、自身の名義で契約を行った新成人の約3割が既にトラブルに遭遇していることが判明しました。

特に「解約・退会が難しい」事例が過半数を占め、トラブル経験者の8割以上に金銭的な実害が発生しています。

法的知識の不足が「泣き寝入り」や「予期せぬ出費」を招く現状は、新成人だけでなく親世代にとっても看過できない問題です。被害を未然に防ぐため、データが示す実態について詳報します。

■調査概要

調査方法：インターネット調査

調査対象：全国の18～20歳、男女300人

調査日：2025年12月

有効回答数：300件

調査機関：Freeeasy

■調査結果サマリー

- 契約経験のある新成人の約30%が、過去1年内にトラブルに遭遇
- トラブル内容の最多は「解約・退会が難しかった」で約54.5%に達する
- 経験者の8割以上に金銭的被害が発生し、約1割は泣き寝入りしている

関連コラムはこちら

■アンケート調査結果

過去1年内に、あなたの名前で契約したサービスはありますか？（複数選択可）

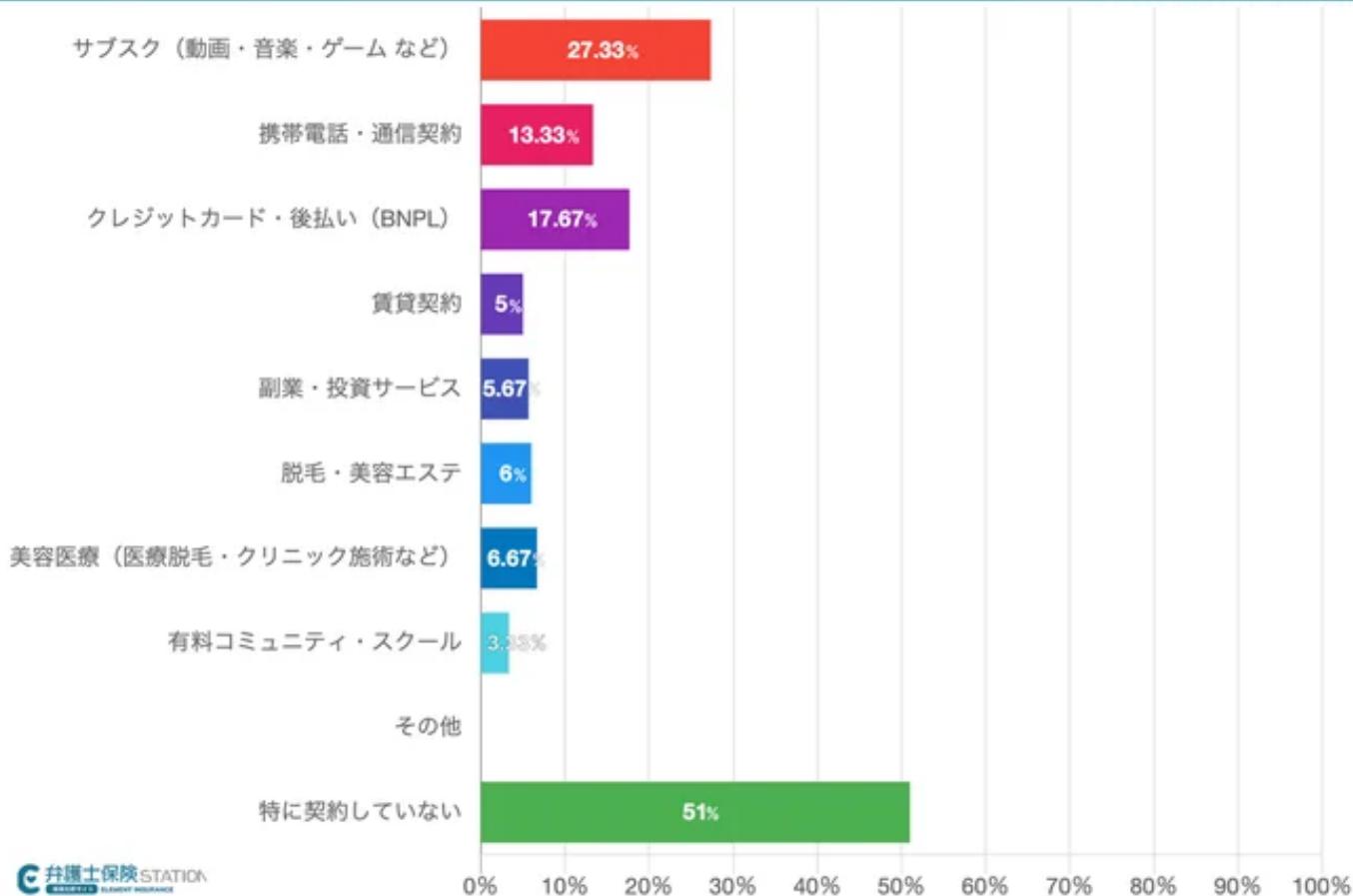
新成人の49%が過去1年内に自身の名前で何らかの契約を行いました。

内容は「動画・音楽等のサブスクリプション」が約27.3%で最多、次いで「クレジットカード・後払い」が約17.7%と続きます。

一方、51%は「特に契約していない」と回答し、自身の名義での契約利用の有無はほぼ半々に分かれる結果となりました。

新成人の契約、主流は「サブスク」と「後払い」。約半数が自分名義での利用を開始

n=300(弁護士保険ステーション調べ)



契約について、困ったことやトラブルが起きたことはありますか？

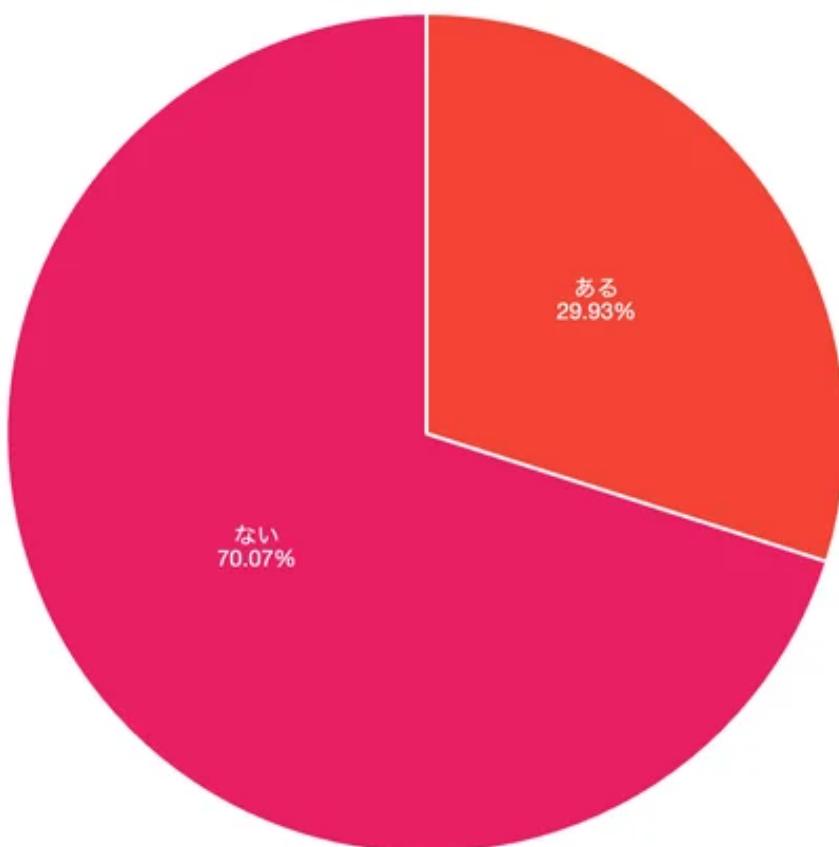
自身の名前で契約を行った経験がある新成人のうち、約3割にあたる29.9%が「契約に関して困ったことやトラブルの経験がある」と回答しました。

多くの新成人が適正にサービスを利用している一方で、**契約経験者の約3人に1人が何らかの問題に直面**しており、決して無視できない頻度でトラブルが発生しています。

「自分は大丈夫」ではない。契約経験者の約3割がトラブルに直面

Q1で「契約サービスがある」と回答した新成人（n=147）を対象に集計

■ ある ■ ない



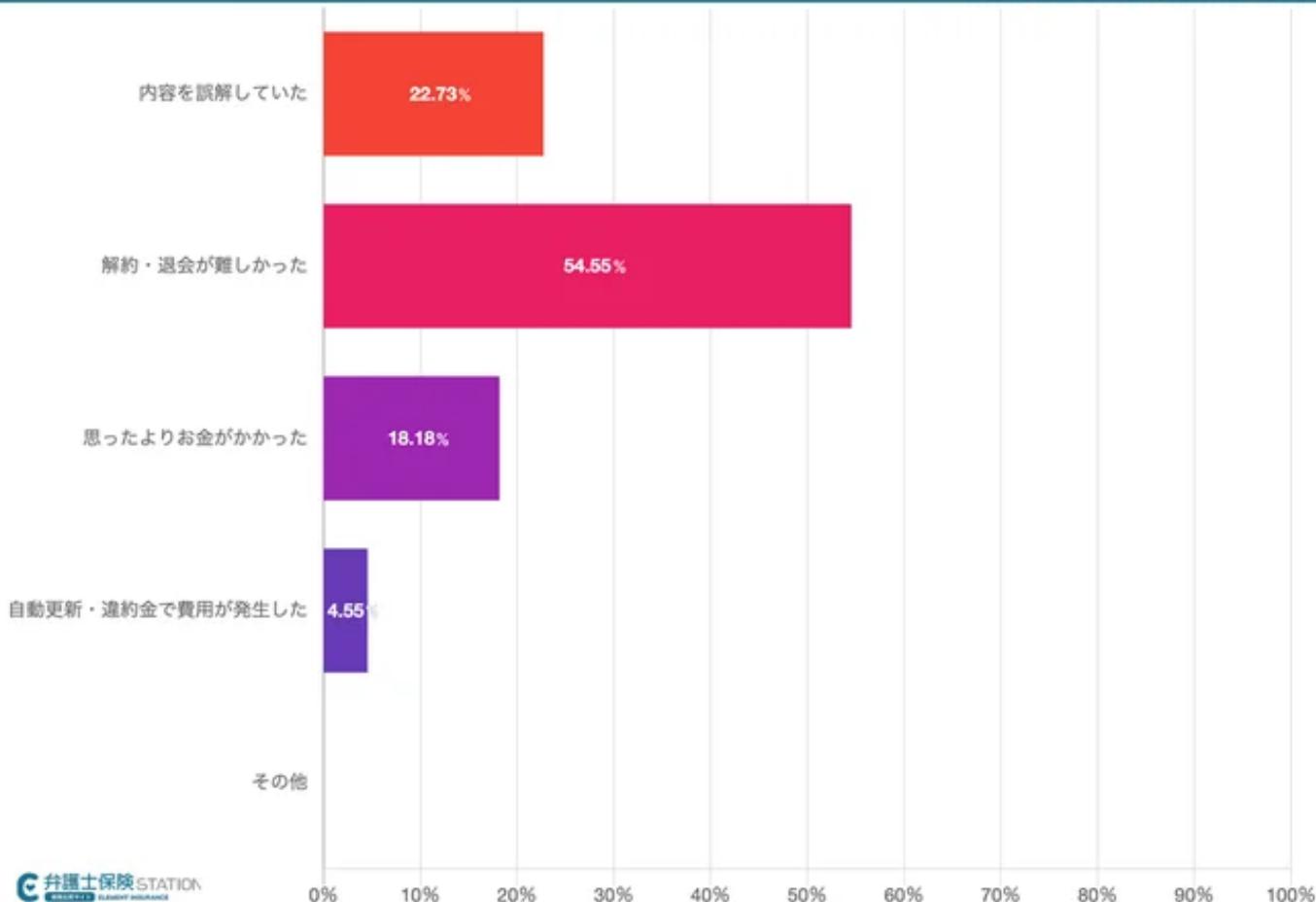
弁護士保険 STATION
ELEMENT INSURANCE

どのようなトラブルでしたか？

トラブルの詳細では「解約・退会が難しかった」が約54.5%で最多となり、2位の「内容を誤解していた」（約22.7%）を大きく上回りました。「思ったよりお金がかかった」も約18.2%に上ります。サービスの利用開始は手軽な一方で、複雑な解約手続きや契約条件の理解不足がトラブルの主要な要因となっていることが分かります。

トラブルの過半数は「解約・退会」の壁。入り口は簡単でも出口で躊躇現実

Q2で「ある」と回答した新成人（n=44）を対象に集計



そのトラブルは、最終的にどうなりましたか？

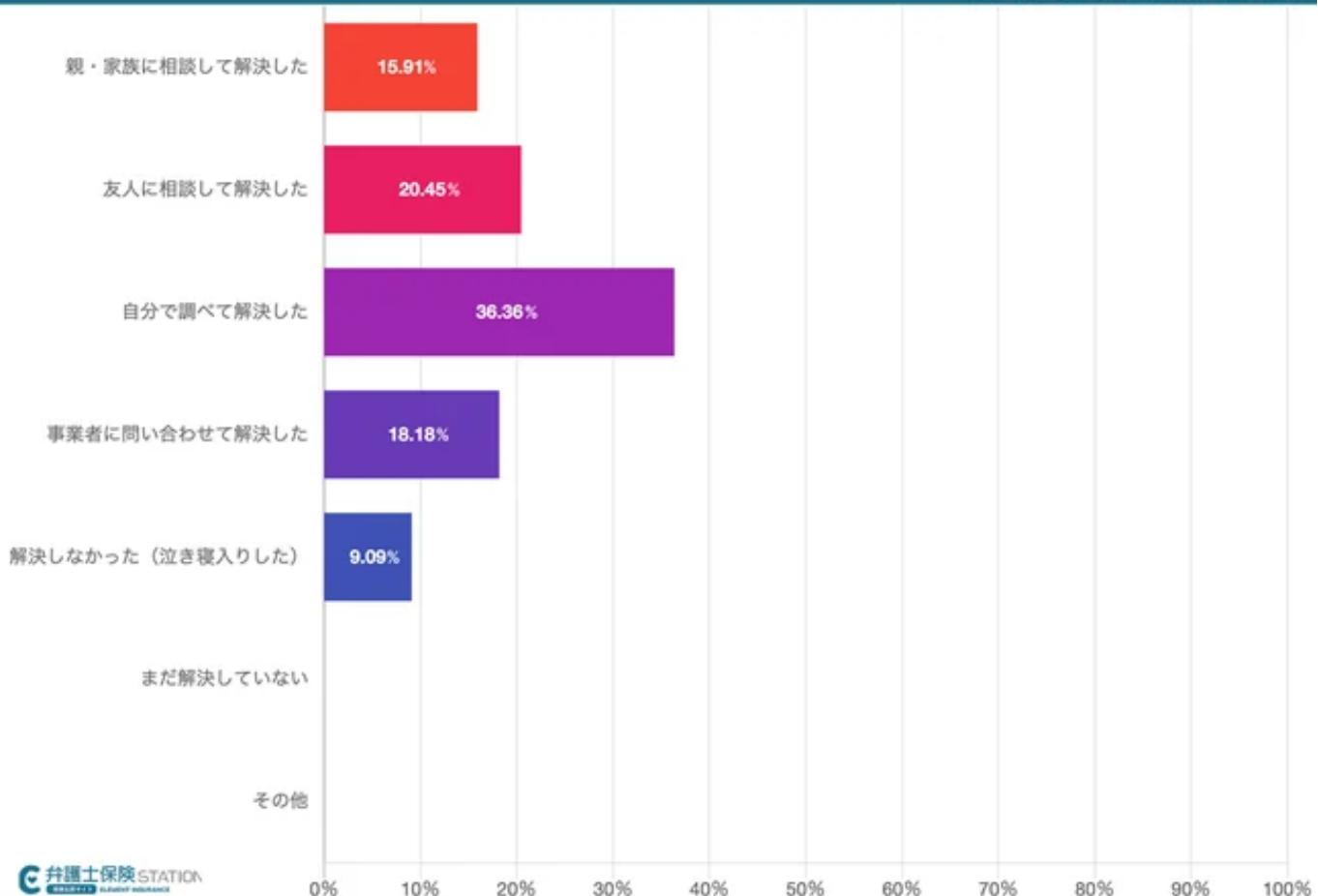
解決策は「自分で調べて解決」が約36.4%で最多となり、「友人への相談」（約20.5%）、「事業者への問い合わせ」（約18.2%）が続きました。

「親・家族への相談」は約15.9%にとどまる一方、約9.1%が「解決せず泣き寝入りした」と回答。

周囲の大手や公的機関に頼らず、自力または身近な友人だけで対処しようとする傾向が見られます。

親や専門家を頼らず「自力・友人」で対処。約1割は解決できず「泣き寝入り」

Q2で「ある」と回答した新成人（n=44）を対象に集計



そのトラブルで、お金が減った／取られたことはありますか？

トラブル経験者の約84.1%に金銭的損失が発生しました。

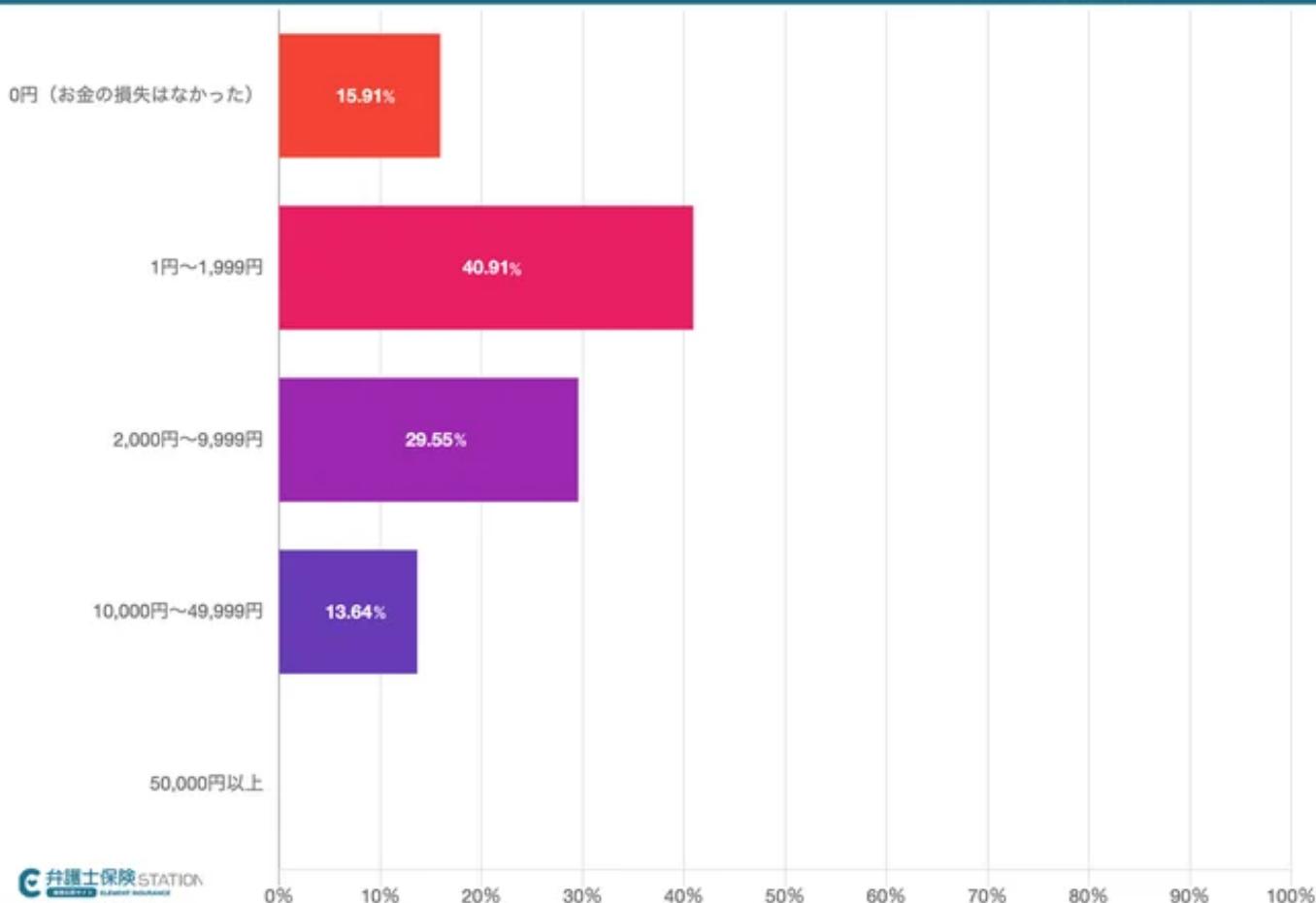
金額は「2,000円未満」が約40.9%で最多ですが、「1万円～5万円未満」の被害も約13.6%確認されています。

損失なしは約15.9%にとどまり、トラブルの大多数が実害を伴っています。

少額であっても、経済的基盤の弱い新成人にとっては負担となり得る実態が明らかになりました。

トラブル発生で「8割超」に金銭的実害。サブスク等の継続課金で膨らむ損失

Q2で「ある」と回答した新成人（n=44）を対象に集計



解約困難や金銭被害などの契約トラブルは、誰にでも起こり得る身近な問題です。

本調査のより詳細な結果や、被害を未然に防ぐための知識は、以下のコラムで解説しています。

調査をもとにしたコラムはこちら

■記事等での調査結果のご利用にあたって

本プレスリリースの内容を引用される際は、以下の対応をお願いいたします。

- 引用元が「株式会社エレメントと弁護士保険STATIONによる調査」である旨の記載
- 弁護士保険STATION(ステーション) (<https://bengoshi-h.info/>)へのリンク設置

禁止事項：法令や公序良俗に反する目的、または当社や第三者の名誉・信用を毀損する目的での利用は固くお断りいたします。

弁護士保険の総合比較サイト「弁護士保険STATION」では、お客さまの安心を支える「弁護士保険」を取り扱う3社の中から比較できる機能をはじめ、弁護士保険の選び方の注意点、豆知識などの情報も更新しています。

■人気保険比較サイト

ペット保険：<https://www.pets-station.info/>

弁護士保険：<https://bengoshi-h.info/>

自動車保険：<https://car-h.info/>

自転車保険：<https://jitensha-hoken.info/>

バイク保険：<https://bike-h.info/>

妊娠保険：<https://ninshin-h.info/>

糖尿病保険：<https://tonyobyo-h.info/>

火災保険：<https://kasai-h.info/>

■株式会社エレメント

<https://element-gr.jp/>

当社は、ITを活用した旅行関連サービスからスタートし、現在は、Web集客を生かした非対面型のデジタル保険の総合代理店事業を運営しております。また、関連会社では旅行・法人向けサービス・卓球事業など、多角的な事業も展開しております。

■会社概要

<https://element-gr.jp/>

会社名：ELEMENT GROUP 株式会社エレメント

住所：〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町10-4 モドマルシェ渋谷桜丘ビル3階

電話：03-5428-6601

株式会社エレメントのプレスリリース一覧

https://prtentimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/73883

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社エレメント 広報担当：尾山 花恋

電話：080-3319-8065

メールアドレス：press@element-insurance.info